

ゆりのきっ子

松小シンボルツリー
ゆりのき

宇城市立松橋小学校
学校だより 7月号
文責：西島 研一

梅雨明け間近？！



コロナウイルスの感染拡大が懸念されるなか、線状降水帯による大雨の被害もあり、大変な思いをされているご家庭もあるかと思われます。被害に遭われたご家庭もしくは、ご親戚、お知り合いの方々を含め、心よりお見舞い申し上げます。

学校では、雨の日はもちろん屋内で過ごすこととなりますが、学級全体でレクリエーションに取り組んだり、カードゲームを楽しむ姿、一年生は粘土遊びに興じていました。梅雨の晴れ間が見られると、運動場に出てきて、サッカー、ハンドボール、ドッジボール、鬼ごっこ等々元気に活動する姿が見られました。また、雨が続くと登下校も大変です。大雨の中、傘をさして、頑張って登校している子供たちもたくさんいました。車での送迎も、今年度は、正門から侵入して、裏門（プール横）へと流れるよう一方通行に取り組んでいます。（但し、車の送迎が少ない時は、裏門での出入りも可能です）かなり、スムーズに流れるようになりました。ご協力ありがとうございました。長引く梅雨が早く明けてくれることを願っています。

落書き・・・

校内での落書きが問題になりました。運動場やハンドボールゴール、学級でのプリント等に好ましくない表現の落書きがありました。落書きはストレスの発散、脳のリラックス効果もあると言われていますが、それは、他に対して害を及ぼさない程度の落書きの効能であり、意思が伝わらなかつたり、やってみることが出来なかつたりすると、マイナス面の落書きへとつながることがあります。子供たちもストレスをもちます。そのストレスを子供たちが認識することは容易ではありません。だから、我々大人が見守り、関わり、支援していかなければなりません。

そこで、学校生活の始まりの時間帯に、リラクゼーションタイムを設けて、少しでもストレスを溜めないよう配慮し、心のモヤモヤが少しでも解消できるよう取り組んで参ります。ご家庭でも、子供たちとの関わりについて、今一度、再確認していただければありがたいです。

夏の熱ストレスに気をつけて！

日差しが強い屋外で、健康的に活動するためには、汗をかいて身体を冷やす必要があります。

汗は血液から作られるため、汗をたくさんかけば血液が少なくなり、体調をくずす場合があります。

日傘を使って強い日差しから体を守ると、汗の量が約**17%**減る*ことが分かりました。

*実験条件：晴天、気温25℃、湿度50%、日射量1000W/m²、風速2.0m/sにて15分間の歩行運動を行った場合、両腕10分間休憩。両腕を10分間休憩させた場合、日傘をかけた場合と、日傘をかけた場合と、両腕を10分間休憩させた場合とを比較。この実験の結果、日傘をかけた場合、汗の量が約17%減少することが分かりました。

環境省 Ministry of the Environment

今年度の夏季休業（夏休み）は、コロナ禍の影響で、8月5日（水）～8月18日（火）までの2週間です。充実した夏休み、事故や怪我が無いよう過ごしてほしいと願っています。本来であれば、7月21日から夏休みに入っていきますが、上記の夏休み期間以外は、通常どおり登校になります。給食も実施されます。そこで懸念することが、「熱中症」です。登校時はまだしも、下校する時間帯はどうしても暑さは避けられません。日課を変更し、サマータイム（7/27～8/28）、1校時の開始時刻を早め、全学年5時間授業とし、登校班別一斉下校（14：35）とします。また、下校時は左の環境省のチラシにもあるように、「日傘」の活用を行っていきます。普段使っている、雨傘で構いません。暑さを少しでも和らげるよう対処して参りますので、サマータイムを含め、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。